

# 社説も使って意見交換

## 山梨英和中 2年生60人が参加



山梨英和

中学校(甲

府市愛宕

町)で19日、

新聞の読み方や役割などを学ぶ授業が行われ、2年生約60人が参加した。

国語科非常勤講師の入倉文子教諭が講師を務め、新聞の歴史などを解説。記事には見出しや写真などを入れ、読みやすく工夫されていることなども紹介し、生徒たちは熱心に耳を傾けていた。

生徒たちはその後、読売

新聞を読みながら、関心を持った記事について意見を



関心を持った記事について意見を交わす生徒たち

交換。山下詩織さん(14)は、事前に資産状況を電話で聞き出す「アポ電」(アポイントメント電話)に警鐘を鳴らした社説を取り上げ、「自動通話録音機能を使うことで被害を防ぐことができるはずだ」などと述べた。入倉教諭は「新聞に触れる良い機会になった。国語力の向上のためにも生徒たちには毎日、新聞を読む習慣をつけてもらいたい」と話していた。